

～連載（シリーズ）開始にあたって～

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 病院長 山下静也



今月より、りんくう総合医療センターの診療内容を含めた色々な病気のことや医療に関する話題を連載でご紹介させて頂くことになりました。

大阪府は健康寿命が全国平均を大きく下回っており、がん死亡率も高くなっていますが、残念ながら特定検診やがん検診などの受診率も低いのが現状です。中でも、特に泉州地域にその特徴が顕著に表れております。

みなさまに、病気のこと・医療のことをもっと良く知っていただき、病気を予防するだけでなく早期発見し、少しでも長く健康な生活をお送り頂きたいと思っております。今後、本シリーズで当院の医師をはじめ

とする医療スタッフからさまざまな情報を発信させていただきます。この連載で役に立つ医療情報を少しでも多くの皆さまにお届けできるようになればと思っております。

まずは、当センターの紹介をさせていただきます。総病床数388床を有する泉州南部で最も重要な病院であり、診療科数は23診療科にわたっております。救急領域では、泉州救命救急センターを含めた高度の救急機能を有しており、災害拠点病院としての役割も担っております。また、大阪府のがん診療拠点病院としても認定を受けており、幅広いがん診療も提供しております。関空の対岸に位置することから国際診療にも力を入れており、また我が国に4つしかない特定感染症指定医療機関の認定もを受けており、新興感染症を水際で防ぐ極めて重大な役割も担っております。当センターは地域医療支援病院の認定も受けており、近隣の医療機関の関係者の方々と連携協力しながら、地域住民の皆さま方に良質な医療サービスを提供できるように努めてまいります。まずはかかりつけの医療機関を受診していただきますようお願い申し上げます。ご不明な点等はお気軽にご相談ください。



地域の医療連携の中核を担う

りんくう総合医療センター

問合先 地域医療連携室
TEL 469-3111 Fax 469-7929

総合内科・感染症内科

総合内科・感染症内科部長兼
感染症センター長 倭 正也



りんくう総合医療センターでは院内の感染症治療における抗菌薬の適正使用に日々努力しています。しかし、泉州医療圏のみならず我が国全体をはじめ世界的には、これまでの抗菌薬の不適切使用を背景とした薬剤耐性菌の増加がまだまだ止まりません。そこで2016年4月、我が国においても初めての薬剤耐性（AMR）対策アクションプランが決定されました。今後、「適切な薬剤」を「必要な場合に限り」、「適切な量と期間」を使用することを徹底するために国民および日常診療において感染症治療を行う臨床医などへの啓発活動を行うことが重要であり、当院も様々な研修会や市民健康講座を行って参りました。さて、先日、内閣官房と厚生労働省により次のような意識調査が行われました。「抗菌薬（抗生物質）は風邪やインフルエンザに効果がないということを知っていますか？」知っている人は57%にすぎませんでした。風邪などのウイルス感染症にはもちろん抗菌薬は不要です。薬剤耐性（AMR）の拡大を防ぐために、抗菌薬は医師や薬剤師の指示を守って使ってください。勝手に途中で止めない。勝手に量や回数を変更しない。このままだと2050年には世界で耐性菌による死亡者数は1,000万人と想定され、現在のがんによる死亡者数を超えると推測されています。将来にわたっての持続可能な医療環境の実現のためには、ぜひともみなさまのご協力が大切なことです。何卒よろしくお願い申し上げます。

看護局

副病院長兼看護局長 藤野正子



厚生労働省では、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制を推奨しています。昔に比べ入院期間の短縮が進み「すぐに退院させられる」と感じられる方もいるのではないのでしょうか。社会の流れに、患者様だけが取り残されないように、入院が決定した段階から退院後の療養生活を見据えて、問題となることを患者様およびご家族にお聞きし、安心して自宅の療養生活または他の病院への転院ができるようにと考えています。私たち看護師は、患者様の問題を解決するために医療チーム内の橋渡しをしたいと考え、「入退院サポートセンター」でお話をお聞きするようになっています。また、訪問看護の看護師や他の病院の看護師との連携をもち、患者様が退院後も必要とする看護が同じように受けられるように、対象となる方や、期間には限定がありますが退院後訪問も近々開始する予定となりました。

みなさまもご存じのように、当センターは高度で専門的な医療が行われる病院です。安全で安心できる医療提供できるように、看護師も専門的な知識や技術が必要とされます。熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師として認定された専門・認定看護師が22人と一定の学習を修得した院内認定の看護師も87人となり、院内での看護だけでなく、地域の看護職の教育にもお手伝いをさせて頂いております。みなさまに質の高い看護を提供するために、今後とも努力してまいります。